

陳情第28号

自転車運転マナー向上のための近所での「声掛け運動」の提案をお願いしたい陳情書

(要旨)

全国的な自転車運転マナー向上の取り組みとして、令和5年4月に施行が予定されている改正道路交通法により、自転車のヘルメット着用が努力義務となるほか、警察庁では、自転車の危険な運転の取り締まりを強化するなど、自転車の運転マナー向上について、世の中の関心は非常に高まっている。

流山市は、自転車通行帯を示す路面標示の整備が進んでいるが、自転車の運転者側は、相変わらず、マナーを無視した走行が目立っている。

このような、現状を受け、私は、自転車運転マナー向上には、近所同士での意識の向上への取り組みが必要と考えている。

防災活動には、個人で防災対策を行う「自助」、公的機関が防災対策を行う「公助」また、個人と公的機関が連携する「共助」があり、全てが揃い、防災対策となる。最近では、近所で助け合うと書く「近助」もある。

自転車の安全対策では、流山市では、「近助」の活動により、近所で運転マナーの向上の意識を高める活動が足りていないと考えている。

流山市は、人口増加率が6年連続で日本一であるが、この増加により、近所が知らぬ者同志である地域も大変多いと思われ、コミュニティを作っていくことも課題になっている。

なお、最後に私の住む南部地域では、南流山中学校移転に伴う中学生の自転車通学も多くなることが予想される。自転車の正しい乗り方について、給食の時間に繰り返し放送する等、児童、生徒にも十二分な啓発を願うものである。

(項目)

コミュニティを作っていくことも兼ねて、自転車運転マナー向上につながる、近所での「声掛け運動」を全議員一丸となって提案していただけるよう陳情する。

令和4年11月11日

陳情者



流山市議会議長 森 亮二 様